

伝統を重んじて新たな道を模索

有限会社南四国ファーム 代表取締役社長 清家寿章



200年以上歴史がある吉田町で農業を続けること

有限会社南四国ファームは、1999年に有志の農家によって設立された。現代取締役社長の清家寿章氏は、大学卒業後一般企業に就職し、その後国の研究機関での研修を経て吉田町で就農した。200年以上みかん栽培の歴史がある吉田町で、「みかんづくりと地域の産業を次世代につなげる」という理念のもと、従業員一丸となって営農している。加工品の開発、観光農園の整備など新たな取組を進め、200年の先に向けて歴史を作り上げているところ。



観光農園で収穫できる河内晩柑

数十名の従業員を守る社長として

南四国ファームは、他県出身者の雇用や外国人雇用など多様な人材を確保している。清家氏は平成30年に代表取締役社長に就任。日々の業務は園地管理、従業員への指導、新製品の開発、新たな販路開拓など多岐にわたる。予想外のトラブルの対応に追われることもあるが、皆さんの元へ美味しい柑橘を届けること、観光農園で楽しんでフルーツ狩りをしてもらうことなどを目標として従業員一同頑張っているとのこと。



(有)南四国ファームのゼリー

仕事内容

柑橘栽培、観光農園、加工品の販売等

設立のきっかけ

近隣農家が集まり自ら販売を手掛ける

経営理念

みかんづくりと地域の産業を次世代につなげる

設立

1999年

これから新規就農を目指す方へ

すぐに結果を求めず、気長に営農していくことが重要です。優良園地が手に入るのは、人間関係の構築も重要ですが、タイミングも重要です。まずは、収穫体験や短期バイトなどで少しずつ地域特性を理解し、就農に向けた準備を進めてください。地域を理解すると、自分で育てたい品種など考える楽しみも増えてくると思います。



これから成熟していくブルーベリー